

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【公開番号】特開 2003-229548 (P2003-229548A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)
 【出願番号】特願 2002-348184 (P2002-348184)

【国際特許分類】

H 0 1 L 27/12 (2006.01)
H 0 1 L 21/02 (2006.01)
H 0 1 L 21/20 (2006.01)
H 0 1 L 21/268 (2006.01)
H 0 5 B 33/10 (2006.01)
H 0 1 L 51/50 (2006.01)
H 0 1 L 21/336 (2006.01)
H 0 1 L 29/786 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 27/12 B
 H 0 1 L 21/20
 H 0 1 L 21/268 E
 H 0 5 B 33/10
 H 0 5 B 33/14 A
 H 0 1 L 29/78 6 2 7 D
 H 0 1 L 29/78 6 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】乗物および乗物に搭載される表示装置の作製方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

凸状または凹状に湾曲した曲面を有する基材上に、薄膜トランジスタ及び有機化合物を含む層を発光層とする発光素子を有する表示装置が計器または照明装置として搭載された乗物。

【請求項 2】

凸状または凹状に湾曲した曲面を有する基材上に、薄膜トランジスタ及び有機化合物を含む層を発光層とする発光素子を有する表示装置が曲面を有するダッシュボード部に搭載された乗物。

【請求項 3】

凸状または凹状に湾曲した曲面を有する基材上に、薄膜トランジスタ及び有機化合物を含む層を発光層とする発光素子を有する表示装置が曲面を有するフロントガラスに搭載され

た乗物。

【請求項 4】

凸状または凹状に湾曲した曲面を有する基材上に、薄膜トランジスタ及び有機化合物を含む層を発光層とする発光素子を有する表示装置が曲面を有するリアウインドウに搭載された乗物。

【請求項 5】

凸状または凹状に湾曲した曲面を有する基材上に、薄膜トランジスタ及び有機化合物を含む層を発光層とする発光素子を有する表示装置が曲面を有するシートに搭載された乗物。

【請求項 6】

請求項 2 乃至請求項 5 のいずれか一において、
前記表示装置が計器として搭載された乗物。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか一において、
前記表示装置と車外に取りつけられたカメラとを接続することを特徴とする乗物。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか一において、前記曲面の曲率半径は、50 cm ~ 200 cm であることを特徴とする乗物。

【請求項 9】

第 1 の基板上に半導体素子を含む被剥離層を形成する第 1 工程と、
前記被剥離層に第 2 の基板を第 1 の接着材で接着させて、前記被剥離層を前記第 1 の基板と前記第 2 の基板とで挟む第 2 工程と、
前記被剥離層と前記第 1 の基板とを分離する第 3 工程と、
前記被剥離層に第 3 の基板を第 2 の接着材で接着させて、前記被剥離層を前記第 2 の基板と前記第 3 の基板とで挟む第 4 工程と、
前記被剥離層と前記第 2 の基板とを分離して、前記第 2 の接着材及び前記第 3 の基板を支持体とする前記被剥離層を形成する第 5 工程と、
前記第 3 の基板を凸状または凹状に湾曲させる第 6 工程とを有することを特徴とする乗物に搭載される表示装置の作製方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の前記第 5 工程において、前記第 1 の接着材は溶媒溶液で溶かして除去し、前記被剥離層と前記第 2 の基板とを分離することを特徴とする乗物に搭載される表示装置の作製方法。

【請求項 11】

請求項 9 において、前記第 1 の接着材は感光性を有する接着材であり、前記第 5 工程において、光を照射して前記被剥離層と前記第 2 の基板とを分離することを特徴とする乗物に搭載される表示装置の作製方法。

【請求項 12】

第 1 の基板上に有機化合物を含む層を発光層とする発光素子または半導体素子を含む被剥離層を形成する第 1 工程と、
感光性を有する接着材を両面または片面に有するテープが設けられた第 2 の基板を、前記被剥離層に第 1 の接着材で接着させて、前記被剥離層を前記第 1 の基板と前記第 2 の基板とで挟む第 2 工程と、
前記被剥離層と前記第 1 の基板とを分離する第 3 工程と、
前記被剥離層に第 3 の基板を第 2 の接着材で接着させて、前記被剥離層を前記第 2 の基板と前記第 3 の基板とで挟む第 4 工程と、
前記テープと前記第 2 の基板とを分離して、前記テープ、前記第 2 の接着材、及び前記第 3 の基板を支持体とする前記被剥離層を形成する第 5 工程と、
前記第 3 の基板を凸状または凹状に湾曲させる第 6 工程とを有することを特徴とする乗物に搭載される表示装置の作製方法。

【請求項 13】

請求項 1 2 において、前記第 5 工程において、光を照射して前記テープと前記第 2 の基板とを分離することを特徴とする乗物に搭載される表示装置の作製方法。

【請求項 1 4】

請求項 9 乃至 1 3 のいずれかーにおいて、前記第 1 の基板及び前記第 2 の基板は、前記第 3 の基板よりも剛性が高い材料であることを特徴とする 乗物に搭載される表示装置の作製方法。

【請求項 1 5】

請求項 9 乃至 1 4 のいずれかーにおいて、前記第 3 の基板は、可撓性を有する基板であることを特徴とする 乗物に搭載される表示装置の作製方法。